

## 今金町の「<sup>はなまい</sup>花舞」におじゃましました！

檜山管内は、道南地域に位置し比較的温暖な気候の中、花の栽培が行われています。

管内の花き栽培戸数は年々減少しており、現在は約30戸と全道でも少ないですが、意欲的に花栽培に取り組んでいます。

今回は、今金町で花きの直売所「花舞」を経営している代表の白岩悦子さんを紹介します。

### 【「花舞」の歴史について】

正式名称は、「Green and Flower Life 花舞」。代表の白岩さんは、ガーデニング用の花や鉢物の生産から販売までを行います。

元々、旦那さんと畑作農業を営んでいる傍ら、10年間趣味の花栽培をしていました。

白岩さんの花に対する熱意、それに押された旦那さんの協力があり、今から10年前に念願だった「花舞」がオープンしました。

「花舞」の事務所であるログハウスや看板はすべて旦那さんの手作りだそうです。

現在は、花の管理を全て奥さんが担当しています。もちろん、夏場は夫婦で畑作やアスパラを栽培しています。



旦那さんお手製！自慢の看板



ハウスには所狭しと鉢花が置かれている

### 【「花舞」の活動について】

取材した6月は、春先に花の苗を販売した後でしたが、3棟のハウスは花が溢れていました。

サンパチェンス、マリーゴールド、ゼラニウム、サボテンなどの多肉植物に至るまで、多種多様な花が育てられていました。

温度管理のためボイラーを備えているハウスもあり、年中花が咲いているようです。

掲載している写真の「プーゲンビリア」は、20年前に趣味で栽培しているときから育てたもので、南米原産のため適正温度は25～30度、温暖な道南地域でも冬期間の管理は大変だということです。

価格を伺ったところ、「値段はつけられない。これは非売品なの」と、大切に育てていることが伝わってきました。

「花舞」には、遠方からバスで来るお客さんや、一度に7万円ほど花の苗を購入される方など、白岩さんの花に魅せられたファンの方はたくさんいます。

地元の飲食店には「花舞」の寄せ植えが置かれていたり、町内のイベントに花を提供するなど、地域に根付いた取り組みを行っています。



20年間育てているブーゲンビリア



多肉植物の珠々姫

#### 【取材を終えて】

白岩さんを一言で表すと「パワフル」な方でした。お話を伺っているうちに私まで元気になり、花と白岩さんのファンになって帰ってきました。

「花舞」の名前の由来は、夫婦で習っている社交ダンスだそうです。冬期間のみですが、近所の生産者をつかの間の息抜きをするのが楽しみだと話していました。

檜山では、地元の花がどこで販売しているのかわからないと言った意見もある中、対面販売することにより顧客のニーズに応える白岩さんは、地域から信頼され生産者として活躍されています。（その分、取り扱う花の種類も多く大変だと思いますが…）

花に対する愛情、旦那さんに対する感謝の気持ちを嬉しそうに話される様子が印象的でした。「ブーゲンビリア」の花言葉は、「あなたは魅力で満ちています」です。

お忙しい中、対応してくださった白岩さん、ありがとうございました

（平成25年6月取材 檜山振興局農務課）